

循環型社会形成推進基本計画 第3回点検結果報告書構成（案）

今回報告書の構成の基本方針（案）

- ・ 今回の点検に当たっては、各主体の取組状況の実態により迫るため、ヒアリングを重視した点検を行った。そのヒアリング内容の概略を可能な限り紹介する。
- ・ 来年度の計画見直しに向けて、より多くの素材を提供する。

はじめに

- ・ 今回で第3回目の点検であり、さらに平成19年度は計画見直しの時期になること。
- ・ 今回の点検に当たっては、可能な限り循環型社会形成に向けての取組の実態に迫るため、産業界、市町村、NPO・NGO、国の各主体の取組を、4カ所の地域ヒアリングを含め、7月から8回にわたり聴取。
- ・ 数値目標については、様々な角度から分析を実施。
- ・ これらの成果を可能な限り分かりやすく報告し、国民に提示。

循環型社会形成のための数値目標に関する進捗状況

- 1 物質フロー指標に関する目標
- 2 取組指標に関する目標

循環型社会形成のための各主体の取組状況

- 1 国の取組
 - * 「国の取組」のヒアリングを中心に
 - * 「国際循環」を頂立て

2 NPO・NGOの取組

*「NPO・NGOの取組」のヒアリングと地域ヒアリングの結果を中心に

3 事業者の取組

*「産業界の取組」のヒアリングと地域ヒアリングにおける地場産業の取組を中心に

4 地方公共団体の取組

- ・都道府県
- ・市町村

*地域ヒアリングの結果を中心に

全体評価と課題

1 物質フロー指標に係る進捗状況

2 取組指標と各主体の取組の状況

3 今後の取組の方向

*「国際的な対応」を頂立て

4 おわりに